

令和3年度 学校評価 (R3年4月～R4年3月)

◇ 評価点は、I～IXのカテゴリーごとにある各項目を、〔3 : あてはまる 2 : ややあてはまる 1 : あてはまらない〕と採点し、その平均点として表したものである。

カテゴリー	自己評価評価点	学校関係者評価評価点
	概要・今後の課題	概要・今後の課題
I 教育理念・教育目的	評価点〔 3.00 〕 適切である。	評価点〔 3.00 〕 自己評価の内容を承認
	評価点〔 3.00 〕 適切である。	評価点〔 3.00 〕 自己評価の内容を承認
II 教育目標	評価点〔 2.90 〕 概ね適切である。教員間で授業参観し、授業の改善に努める。また、看護実践力を身に付けた教員を確保するために、市立奈良病院との人事交流ができるように調整する。	評価点〔 2.90 〕 自己評価の内容を承認 人事交流は非常に良いことだ。大いに進めてほしい。
	評価点〔 2.50 〕 やや不適切な項目がある。担当する科目の授業案を作成し、授業評価を実施する。また、教員が積極的に研修・研究など自己研鑽できるよう支援する。	評価点〔 2.50 〕 自己評価の内容を承認
IV 教授・学習・評価過程	評価点〔 2.70 〕 概ね適切である。教職員の業務を整理し、業務マニュアルを修正する。	評価点〔 2.70 〕 自己評価の内容を承認
	評価点〔 3.00 〕 良好である。受験生増加の対策を継続する。地域医療に貢献する志のある人材を選抜し確保する。	評価点〔 3.00 〕 自己評価の内容を承認
V 経営・管理過程	評価点〔 2.30 〕 やや不適切な項目がある。就職先と連携を密にして、卒業後の活動状況を知る。早期離職者を無くすよう支援策を計画する。	評価点〔 2.30 〕 自己評価の内容を承認
	評価点〔 2.80 〕 概ね適切である。昨年度に引き続き、コロナ禍の為、全般的に人が集まる企画が難しかった。	評価点〔 2.80 〕 自己評価の内容を承認
VI 入学	評価点〔 2.60 〕 概ね適切である。3名の教員が、奈良県看護学教育協議会主催の「看護研究研修」に参加し、研究の基礎を学んでいる。	評価点〔 2.60 〕 自己評価の内容を承認
VII 卒業・就業・進学		
VIII 地域社会／国際交流		
IX 研究		

◇学校関係者評価委員会 令和4年3月31日 本校会議室で開催

委員長 国分 清和 (奈良市医師会会長)  
 委員 飯尾 美和 (奈良県看護協会会長)  
 杉浦 正美 (市立奈良病院経営企画室長) 欠席  
 川上 正 (市立奈良病院事務部長)  
 久保 英雄 (飛鳥地区自治連合会長)  
 事務局 平 葉子 (校長)  
 岡田 和美 (副校長)  
 島岡 佳彦 (事務長)